

令和2年度通常総会開催

3月14日(日)令和2年度の通常総会を開催しました。新型コロナウイルス感染もやや落ち着いてきていますが、収束には至っていない状況から、今年も昨年同様、自粛して総会を行いました。

総務担当理事から簡潔明瞭に令和2年度の事業報告・剰余金処分(案)及び令和3年度の事業計画並びに新規組合員の加入(特別決議)の4議案を上程し、議案はすべて承認されて短時間で総会を終了しました。

令和2年度は黒枝豆・黒大豆・小豆においては前年度の半減でしたが、米の売り上げや受託作業の増加、更に加工部の健闘等により前年度をやや上回る過去最高の売上高となりました。

今年度からは新たに2名の方が組合に加入していただき、組合員戸数は36戸となりました。

今回までほたるの里の経営が黒字決算とは言うものの、営業利益では赤字となっており厳しい状況に変わりありません。今年度も一致団結して、黒字経営が続けられるよう精一杯頑張る所存であります。コロナ禍での状況でもあり、今年度も応援隊の活動を見通すことが困難な中、何卒、会員ご一同様の更なるご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

昨年度は新型コロナで始まり、新型コロナで終わった一年で、研修会を始めとしてすべてのイベントの開催や参加がなくなりました。今年度もコロナ禍での行政の動向を見ながら検討することといたしますのでご理解ください。

令和3年度の営農計画における直営面積は15haを越すこととなりました。昨年度まで作付けしていましたWCS(飼料用稲)を取りやめる一方、コシヒカリを約200a、キヌヒカリを約100a増やす計画です。役員一同も努力いたしますが、組合員の皆様のお知り合いへの販路拡大の一層のご協力をお願い申し上げます。

また、昨年度は畑で直販のテレビ放映の反響も大きかったため、今年度は畑で直販に来ていただくお客様の増加も考慮し、黒大豆枝豆も約10a増やす計画と致しました。

更に、今年度は新たに蕎麦(24a)の栽培に取り組みますとともに、昨年に引き続き酒米『祝』も栽培することとしています。

美しいふるさとをみんなの力で守っていこう!